

業務内容・見積り条件

1. 業務名 平成 24 年度 天竜川・新豊根ダム水辺現地調査業務

2. 業務内容

1) 概要

本業務は、生物の良好な生息・生育環境の保全を念頭においた適切な河川・ダム管理に資するため、河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル（河川版・ダム湖版）の魚類調査編および底生動物調査編に基づいて、天竜川・新豊根ダム湖における魚類、底生動物の生息状況を把握することを目的とする。

2) 業務内容

1. 調査区域・地区

調査区域は、天竜川水系天竜川（平岡ダムより下流）、及び新豊根ダム湖および流入河川およびその他とする。

調査地区は、下表のとおり、天竜川 5 箇所、新豊根ダム湖 6 箇所とする（魚類・底生動物とも）。

調査区域	調査地区番号	地点
天竜川	天天浜 1	0. 3km～1. 6km
	天天浜 2	18. 2km～18. 8km
	天天浜 3	28. 0km～28. 8
	天天浜 4	46. 0km～46. 6km
	天天浜 5	65. 9km～66. 4km
新豊根ダム湖	天新湖 1	ダムサイト付近最深部
	天新湖 2	大入川流入部
	天新湖 3	古真立川流入部
	天新入 1	流入河川（大入川）
	天新入 2	流入河川（古真立川）
	天新下 1	下流河川（大入川）

2. 調査時期及び回数

調査時期及び回数は、「河川水辺の国勢調査全体調査計画書」を踏まえ、原則下表のとおりとする。

調査区域	調査項目	春	夏	秋	冬	早春
天竜川	魚類	5月	7月	9～10月		
	底生動物		7月		12～1月	3月
新豊根ダム湖	魚類	5～6月	7～8月	10月		
	底生動物		7～8月		12～1月	2～3月

3. 事前調査

4. 現地踏査

マニュアルのⅡ魚類調査編およびⅢ底生動物調査編の、3. 現地調査計画の策定 に記載されている内容のうち、現地踏査である。

5. 現地調査計画の策定

6. 現地調査（外業）

マニュアルのⅡ魚類調査編およびⅢ底生動物調査編の、4. 現地調査 に記載されている内容のうち、現地作業の項目である。

7. 現地調査（内業）、室内分析

マニュアルのⅡ魚類調査編およびⅢ底生動物調査編の、4. 現地調査 に記載されている内容のうち、室内作業の項目、およびⅢ底生動物調査編の、5. 室内分析の項目である。

8. 調査結果とりまとめ、

9. 考察・評価

10. 外来種侵入状況確認調査（新豊根ダム）

11. 陸封アユの生息の把握（新豊根ダム）

12. 報告書作成

3. 見積り条件

以下の見積りは、天竜川、新豊根ダム、および魚類調査、底生動物調査に分けた見積りとする。

1. 事前調査

事前調査は、1 式あたりの見積りとする。

河川水辺の国勢調査アドバイザー（魚類・底生動物）は、板井隆彦氏である。

2. 現地踏査

現地踏査は、1 回あたりの見積りとする。

3. 現地調査計画の策定

現地調査計画の策定は、1 式あたりの見積りとする。

4. 現地調査（外業）

現地調査（外業）は、1 箇所あたりの見積りとする。

5. 現地調査（内業）・室内分析

現地調査（内業）・室内分析は、マニュアルのⅡ 魚類調査編およびⅢ 底生動物調査編の、4. 現地調査 に記載されている内容のうち、室内作業の項目、およびⅢ 底生動物調査編の、5. 室内分析の項目である。1 箇所あたりの見積りとする。

6. 調査結果とりまとめ

調査結果とりまとめは、1 式あたりの見積りとする。

7. 考察・評価

考察・評価は、1 式あたりの見積りとする。

以下の見積りは、1 業務あたりの見積りとする。

8. 外来種侵入状況確認調査（新豊根ダム）

外来種侵入状況確認調査は、1 回あたりの見積りとする。

9. 陸封アユの生息の把握（新豊根ダム）

陸封アユの生息の把握は、1 回あたりの見積りとする。

10. 報告書作成

報告書作成は、1 式あたりの見積りとする。

成果品は、以下のとおりとする。

- 1) 業務報告書（電子成果品） 2 部（CD-R 等）
- 2) 報告書 天竜川・魚類 2 部 天竜川・底生動物 2 部 新豊根ダム 2 部
- 3) 河川水辺の国勢調査入出力システムデータ及び写真 2 部（MO）

4. 見積り内容

別添のとおり